

堀内 信人 先生 推薦  
『ジャン・クリストフ』 著  
豊島 与志雄 訳  
(岩波文庫 他)



「思想もしくは力によって勝った人々を私は英雄とは呼ばない。私が英雄と呼ぶのは心に拠って偉大だった人々だけである。」ロランの語るその中の一人、ベートーヴェンをモデルに音楽家クリストフの生涯を描いた作品。飲んだくれの音楽家を父として生まれた少年ピアニスト、クリストフが貧困や孤独の中、世間の偽善や敵意に苦しみながらも、新しい芸術の探求を続ける。やがて一人の友を見出し、共同生活を送る中で独り善がりだったクリストフの音楽はより広い世界へと脱皮していく。高校の時読んで最も心に残っている本です。感動して繰り返し何度も読みました。青春時代は価値観をうまくつかめず、人生のモデルを求める時期ではないでしょうか。私も「クリストフのように生きたい。」と思いました。またロランの書いた芸術家達の評伝も薦めます。生き方を考えさせられると共に、芸術への目も開かされます。



横地 亨 先生 推薦  
『現象が一変する量子力学的  
パラレルワールドの法則』  
村松大輔 著 (サンマーク出版)

本のタイトルは、なんか小難しい印象を受けますが、日ごろ日常的に起きている様々な事について科学的にアプローチをした内容です。といっても、肩ひじ張って読む内容でなく、むしろ、まゆつばの話?・・・と思ってしまうような内容です。次のような疑問を持っている人は、読んでみてはいかがでしょうか。例えば、運がいい人と悪い人は何か違いがあるのか、とか、他人や自分に感謝すると何かいいことが本当に起き始めるのか、とか、偶然の出会いってあるの・・・とか。ただ、本の最初の章は、量子力学やパラレルワールドの考え方の内容で、中盤は体験談の話題なので、少々とつきにくいかもしれません。そんな方は、第4章あたりから読んでみると良いと思います。良くも悪くも、読み終わったときには、今までの常識にとらわれた考えでなく、新しい視点や視座で物事を考えることができるようになるかもしれません。

# 読み聞かせ活動



～図書委員会では、読書会と読み聞かせの活動を行っています！～

新型コロナウイルスの影響で中止となっていた読み聞かせ活動ですが、今年度久しぶりに再会することができました！第1回目は7月12日(水)に磐田西小学校の西っ子タイムの時間を頂き、4・5・6年生を対象に読み聞かせを行いました。図書委員も本を選ぶところから楽しんで取り組むことができました。西小学校の子供たちもとても真剣に聞いてくれたので、充実した時間となりました。次回は12月に低学年を対象に実施予定です。幼児教育に興味がある生徒の皆さん、ぜひ一緒に活動に参加してみませんか？



## 図書館を上手に活用しよう！

皆さん！図書室に立ち寄る頻度はどのくらいでしょうか。

毎日 or 週1 or 月1 ……??

図書室は読書はもちろん、調べものをしたり、学習をしたり。

活用方法はさまざまです！

<貸出について>

◎開館時間は8時40分から16時45分まで。

◎貸出期間は2週間です。

◎貸出冊数の制限はありません。※予約もできますよ！

◎PCでの貸出処理 or 貸出用紙に記入すれば、借りることができます。

☆図書館には様々な資料があります。

書籍・新聞・雑誌・CD など…。

PCでお探しの資料を検索することもできます。活用してみましょう。



貸出禁止の本は、図書室で読んでね♪

